

様式

令和1年度事業報告書

平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで

特定非営利活動法人 茨城自立支援センター

1 事業の成果

障害者が仕事を通して社会人としての心得、仕事のスキルを習得することにより一般企業に就労繋がる福祉サービス事業就労継続事業所 A 型 8 年目。水戸は飲食店向けの貸おしぼりが主なので新型コロナウイルスの影響で仕事が3月後半から減少傾向、笠間の事業所は病院や施設向けの仕事なので影響はない状況。

11月からは笠間市に新たに障害者向けのグループホームを立ち上げ、3月末には利用者は3名。笠間のA型には高校を卒業した障害者の利用者が増えた。相談支援事業も利用者も今年度は水戸の事業所でもタスカルカードの改良により、健常者の仕事に近い仕事もできるようになった。笠間の事業所では、近隣住民と利用者が交流できることと感謝の気持ちを込めて恒例となった4回目の『ふれ合い感謝』を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額(単位:千円)
障害者自立支援法に規定する障害福祉サービス事業	就労継続支援事業所 A を営んでいます。仕事の内容は水戸事業所ではおしぼり巻きとタオルたたみ、飲食店向けクリーニング。笠間の事業所はタオルたたみと私物クリーニングのたたみです。11月から笠間市で障害者向けのグループホームを始めました。	(A) 平成31年 4月 1日より (B) 水戸市見川町 2131-404 笠間市旭町 550-1 (C) 57名	(D) 利用者と指導者 (E) 57名	148,342千円

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額(単位:千円)
実施しなかった。			